

# お知らせ

## 同時資料提出先

- ・ 島根県県政記者会
- ・ 松江市政記者クラブ
- ・ 出雲市政記者クラブ
- ・ 米子市政記者クラブ

## 洪水期を前に災害対策訓練を実施します 「平成18年度管内災害対策訓練」

国土交通省中国地方整備局では、梅雨、台風等による災害に対して、被災状況等の迅速かつ正確な把握及び伝達、的確な指揮・対策を行うことを目的として、管内の災害対策訓練を実施します。そのため、中国地方整備局管内では、甚大災害事務所を毎年持ち回りで実施しています。今年は、出雲河川事務所管内で、甚大災害（斐伊川のどこかで、漏水による破堤）が発生したと想定で、下記の内容について災害対策訓練を実施します。

訓練日時 平成18年5月12日（金） 9：00～16：00

訓練場所 災害対策支部：出雲河川事務所

### 主な訓練内容

情報伝達訓練

各種IT機器、衛星通信を使用した現地映像の伝達

ヘリコプターによる現地映像伝達

地域間での情報交換による地域連携の強化

### 問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所

電話番号（0853）21-1850（代表）

副所長（技）	つちえ 土江	せいじ 清司（内線205）
調査設計課長	みずくさ 水草	こういち 浩一（内線351）

## 1. 目的

我が国は、気象や地形など自然的な条件から、毎年のように、豪雨、台風、高潮、地震、津波、火山噴火等による災害に見舞われています。中国地方では、平成11年6月の梅雨前線による広島県南西部の土石流被害や平成12年10月の鳥取県西部地震及び平成13年3月の芸予地震などが、記憶に新しいところです。また去年は、台風14号の接近による記録的な豪雨のため、山口県東部を中心に、家屋の浸水や土砂災害など、各地で甚大な被害が発生しました。

このように、いつどこでどのような形で起きても不思議でないのが自然災害です。中国地方整備局は、過去の大規模災害や事故を貴重な教訓として今後の災害に対する防災体制を強化して行く考えです。

そのためには、災害が起きた際の迅速な初動体制の構築や連絡体制の確立など、いわゆる「危機管理」の意識を高めることが重要であると考えられます。

このような状況に鑑み、中国地方整備局では、昭和58年から毎年、梅雨期の前に、被災状況等の迅速かつ正確な把握と伝達や的確な指揮・対策を目的に管内災害対策訓練を実施しています。

## 2. 訓練テーマ

災害に対応するため、中国地方整備局災害対策本部及び各災害対策支部は防災上の確かな情報伝達や指揮・対策のほか、各県より中国地方整備局所管施設関係被災情報の収集の訓練を行います。また、各関係機関及び外部に対する情報提供のための広報活動訓練も合わせて行います。

なお、出雲河川事務所においては、災害対策車、待機支援車、照明車、排水ポンプ車、防災ヘリコプター、テレビ会議システム、衛星小型画像伝送装置(Ku-SAT)等を活用した訓練を行うとともに、デジタルカメラ、E-mail、災害フォトシステム、CCTV等のIT機器を活用した情報の収集、伝達を行います。

特に今年度の訓練では、平成16、17年度の豪雨災害等に鑑み、情報伝達の迅速化、地域の的確な判断・行動につながる情報の提供と減災・円滑な支援を図るため、被災箇所画像情報伝達に重点を置く情報伝達訓練を実施します。

## 3. 訓練日時

平成18年5月12日(金) 9:00~16:00

## 4. 訓練参加者

中国地方整備局および管内の河川・道路・ダム・営繕・公園・港湾空港の各事務(管理)所

各県の河川(ダム)・道路・都市・住宅・港湾空港関係部局

約1200名参加(整備局全職員約2000名のうち約6割が参加)

出雲河川事務所では、職員のほぼ全員が参加予定

## 5 . 訓練場所

災害対策本部：広島合同庁舎 2 号館 8 階災害対策室

災害対策支部：出雲河川事務所

現地被災箇所：斐伊川（破堤）

島根県簸川郡斐川町

## 6 . 訓練想定

「5月11日深夜から、日本海から山陰にのびる梅雨前線の活動が活発になり、夜半より、島根県東部から兵庫県北部にかけて梅雨前線が停滞し、山陰沖で発達した雨雲が次々流れ込み、同じ地域で断続的に雨が降り続き、12日未明には雨の勢いが非常に激しくなり、数時間にわたって時間雨量が50mmを越す、記録的な豪雨となった。」

これに伴い出雲河川事務所では、甚大災害が、斐伊川のどこかで、漏水による破堤が発生した。

この想定のもと、5月12日9時00分から出雲河川事務所に災害対策支部を設置し、管内の被災状況の情報伝達、指揮・対策及び広報活動の訓練を行います。

平成16年新潟豪雨相当の降雨により、斐伊川本川では計画高水位（H.W.L）を越える洪水が発生と想定

## 7 . 訓練の内容

情報伝達訓練

- ・本部、支部間の情報伝達
- ・各県、関係機関との災害に関する情報伝達

現地被災箇所での訓練内容

河川災害箇所 島根県簸川郡斐川町（斐伊川）

- ・災害対策本部車、待機支援車の出動
- ・情報コンセント、各種IT機器による現地映像伝達
- ・ヘリコプターによる上空からの現地映像伝達
- ・排水ポンプ車、照明車等の出動
- ・衛星小型画像伝送装置(Ku-SAT)による現地映像伝達

## 8 . 訓練の中止等

訓練の当日、降雨等により訓練内容の変更や防災体制をとる必要が生じた場合は、訓練を中止又は延期する。

## 9 . 主な訓練スケジュール

時刻	実施内容等
5月12日 9:00頃	出雲河川事務所内(3階)に災害対策支部設置
9:50頃~	出雲河川事務所管内河川災害状況報告 災害対策機械出動要請
11:00頃	(出雲河川事務所河川災害) 被災現場からの情報コンセントを使用した災害状況の中継
13:00頃	(出雲河川事務所河川災害) 被害現場からの衛星小型画像伝送装置(Ku-SAT)を使用した災害状況の中継
13:30頃~	災害対策用ヘリコプターからの被災現場中継開始 斐伊川~国道54号
14:20頃	(出雲河川事務所河川災害) TV会議システムによる説明、報告等 被災現場からの情報コンセントを使用した災害状況の中継
15:20頃~	(出雲河川事務所) 被害現場からの衛星小型画像伝送装置(Ku-SAT)を使用した災害状況の中継
16:00頃	訓練終了